

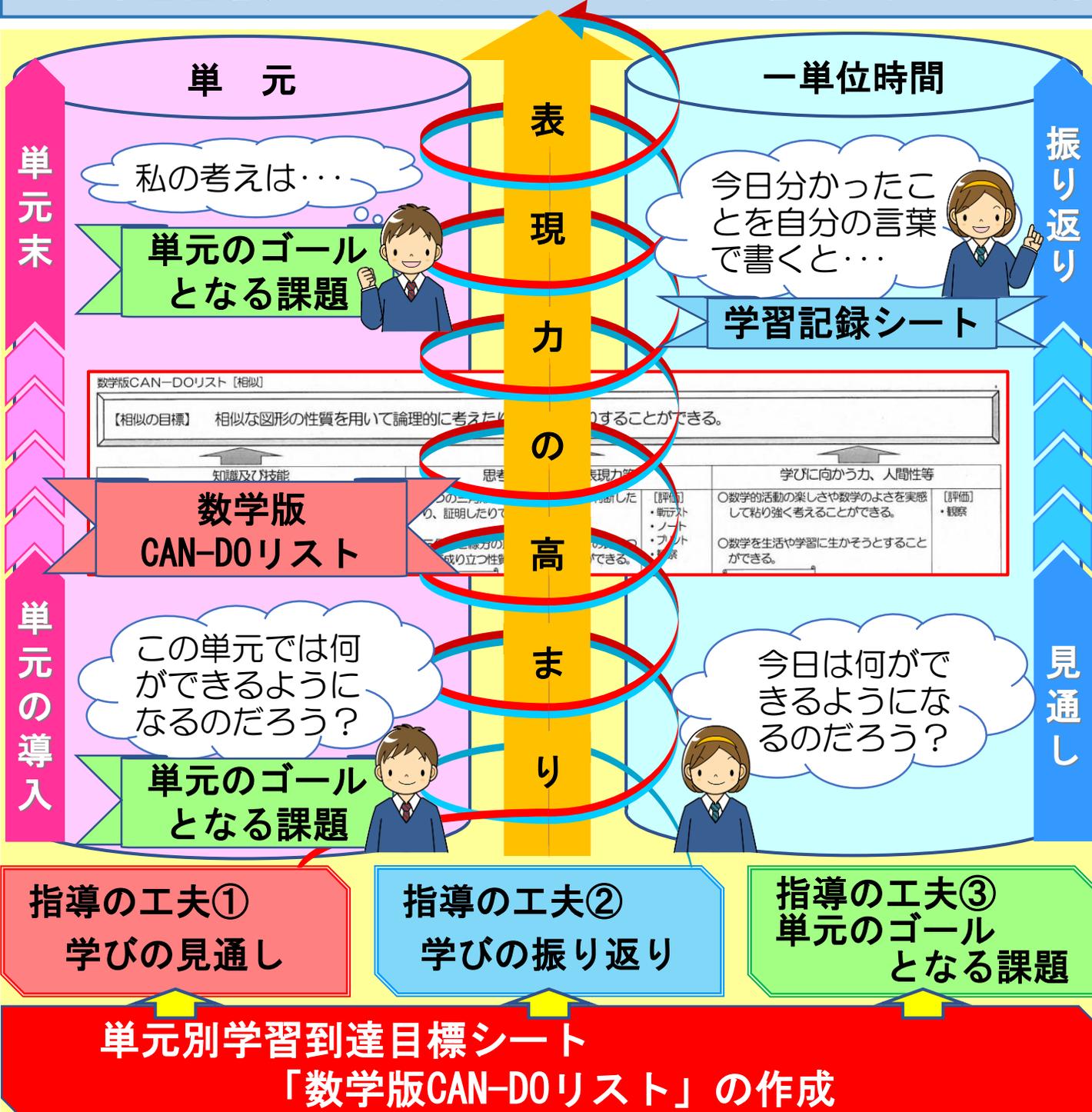
一人一人の表現力を高める中学校数学科の授業づくり
 —「数学版CAN-DOリスト」を踏まえた指導の工夫を通して—

長期研修員 松井 恒俊

研究構想図

目指す生徒像

既習の知識・技能を用いて根拠を持って問題を解決したり、自らの思考過程を表したり説明したりする力を身に付けた生徒



本県の課題

必要な情報を取り出して自分の考えを述べたり、考えた方法や理由を説明したりすること

単元別学習到達目標シート
 「数学版CAN-DOリスト」の作成

指導の工夫① 学びの見通し

単元の学習到達目標を記入

【相似の目標】 相似な図形の性質を用いて論理的に考えたり、表現したりすることができる。

知識及び技能

- 平面図形や立体の相似の意味と相似な図形の性質を理解することができる。
- 相似比の意味を理解し、それを利用して相似な図形の辺の長さを求めることができる。
- 三角形の相似条件を理解することができる。

【評価】
・軌行スト
・ノート
・プリント
・観察

思考力、判断力、表現力等

- 2つの三角形が相似であることを判断したり、証明したりできる。
- 三角形と線分の比や平行線と線分の比について成り立つ性質を確かめることができる。

【評価】
・軌行スト
・ノート
・プリント
・観察

学びに向かう力、人間性等

- 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考えることができる。
- 数学を生活や学習に生かそうとすることができる。

【評価】
・観察

身に付けさせたい資質・能力を生徒に伝える言葉で記入

何ができるようになるの？

一単位時間での見通しと振り返り

学びの地図になるね！

この授業で分かったのは…

単元のゴールとなる課題

単元の導入

単元の学習

単元末

単元の学習に見通しを持つ

単元の学習を用いて表現

最後には説明できるんだ！

説明できた！

伝え合う活動

学習記録シート

指導の工夫②
学びの振り返り

指導の工夫③
単元のゴールとなる課題

成果と課題【県内4中学校で検証した結果】

- 「数学版CAN-DOリスト」により、約86%の生徒が、その単元で「何ができるようになるか」をつかむことができた。さらに、このリストを踏まえた学習記録シート及び単元のゴールとなる課題により、約76%の生徒が自分の考えを式や表等を用いて表現でき、表現力の高まりを感じた。
- このリストは網羅的なものであり、どの資質・能力を重点的に高めたいかは、学校（生徒）の実態によっても異なる。

提言

新学習指導要領では「何ができるようになるか」を明確にすることが求められています。「数学版CAN-DOリスト」で、到達目標を生徒と共有して、目指す資質・能力の伸長を図りませんか。